

微生物標本館への2010年度分の標本追加  
Additional Specimens to Microorganism Museum in 2010.

小板橋基夫\*・吉田重信\*・對馬誠也\*\*  
Motoo Koitabashi, Shigenobu Yoshida, Seiya Tsushima

1. 微生物標本館とは

農業環境技術研究所、農業環境インベントリーセンターに所属する微生物標本館には、多くの研究者から寄託された微生物タイプ標本に NIAES 番号を付けて保管されている。さらに、1880 年から現在に至るまで約 130 年間にわたり寄贈・採集された微生物乾燥標本、微生物乾燥さく葉標本等約 7,300 点を、標本室内で安定的に保管している。また、農林水産省微生物ジーンバンク事業の一環として、細菌および糸状菌の凍結乾燥アンフル、凍結チューブ、継代培養試験管など合わせて約 4,000 点を低温室において保存している。その収集は現在も続いており、2010 年度に新たに収蔵した標本等について紹介する。

2. 標本館情報への標本追加

2010 年度には、パイナップル科の観葉植物ネオレゲリアがオランダから輸入される際に、成田空港で植物検疫により発見された新種の病原菌 *Exserohilum neoregeliae* の菌体標本や、北海道で発生した新病害のニラベと病のさく葉標本など 3 点に NIAESH 番号を割り振り、タイプ標本コレクションに追加した (図 1)。

また、昨年標本を収蔵したイチジク株枯病菌の原著論文が *Mycoscience* 誌に発表された。



図 2 : 2010 年度に寄託されたタイプ標本や証拠標本の保存状況  
(左 : *Exserohilum neoregeliae* の菌体標本 右 : ニラベと病のさく葉標本)

\*生物生態機能研究領域, \*\*農業環境インベントリーセンター

Environmental Biofunction Division, Natural Resources Inventory Center

インベントリー, 第 10 号, p60-61 (2012)

これまでに微生物標本館に所蔵されているの微生物標本情報をDB化し、Web公開中の微生物インベントリー「microForce」にデータ追加等を行ってきたが、今回寄託された標本のデータ3点をDBに追加した。

### 3. ジーンバンク登録菌株の標本化

農業環境インベントリーセンターでは、農林水産省のジーンバンク事業のサブバンクとして微生物遺伝資源の探索収集、評価、保存、配布等の活動を行っている。それらMAFF菌株の中からMAFFIN306798～306808までの11菌株の植物病原菌の培養菌体の乾燥標本を作成した。この中には、香川県丸亀市で採集されたアスパラガス褐斑病の病原体である *Cercospora asparagai* や、香川県観音寺市で採集されたレタスピシウム萎凋病の病原体である *Pythium uncinulatum* などの標本が含まれている。各菌株の詳細は以下に示す農業生物資源研究所ジーンバンク事業のデータベースの微生物遺伝資源部門に登録され、以下のサイトから検索を行える。

URL <http://www.gene.affrc.go.jp>

### 参考文献

- 1) Yuji Kajitani and Hayato Masuya (2011) *Ceratocystis ficicola* sp. nov., a causal fungus of fig canker in Japan. *Mycoscience*. 52. 349-353.
- 2) Takuya Sakoda and Takao Tsukiboshi (2011) *Exserohilum neoregeliae* sp. nov., a new pathogen of *Neoregelia carolinae*. *MYCOTAXON*. 118. 213-218.

### 問い合わせ先

生物生態機能研究領域 小板橋基夫  
電話：029-838-8355, E-mail:koita@affrc.go.jp